

## 令和4年度町政懇談会記録

- 1 会議の名称 令和4年度町政懇談会  
(接岨区、大間区、奥泉区、大谷区)
- 2 会議日時 令和4年12月12日(月)午後7時から午後8時30分まで
- 3 開催場所 奥泉地区集会所
- 4 出席した者の氏名
  - (1) 接岨区、大間区、奥泉区、大谷区 参加住民 31名
  - (2) 執行機関 町長 藪田靖邦、副町長 秋元伸哉、教育長 山下 斉  
(出席課長) 企画課長 大村、観光商工課長 中野、社会教育課長 大村  
(書記・庶務) 総務課室長 和田、企画課室長 大村、  
観光商工課主幹 栗原、健康福祉課主幹 望月
- 5 内容
  - (1) 行政からの報告(町長・副町長・教育長)
    - ・これまでの取り組みと今後の町づくりの方針
    - ・デジタル技術を活用した情報サービスの向上
    - ・町の教育方針について
  - (2) 町民の皆さんとの意見交換
- 6 発言の内容
  - (1) 事前質問に対する回答等
    - (問) 放置された農地がかなり目立つ。草刈等がされていない茶園に対する対策は。
    - (答) 農地を農業利用区域と保全等区域に整理していきます。  
農業利用区域は、農業経営の担い手に集約していく方向性が国から示されています。保全等区域は、経営耕地とならないとしたうえで、環境保全の対策を講じていくことになります。
  - (問) 集会所の維持経費が区民負担となってきた。助成金の検討をお願いしたい。

(答) 集会所の施設管理経費は、施設を利用する区民の皆様にご負担をいただくことを基本としていますが、地区の事務負担を軽減するため、施設改修等に係る経費の負担方法を見直すなどの対応をさせていただいています。

区長連絡会等でも、事務取扱交付金の算定方法に見直しと合わせて、集会施設の管理運営について協議、ご相談をさせていただきます。

(問) 八橋小道（遊歩道）の山ビル対策として、定期的な駆徐剤散布はできないか。

(答) 接岨峡地区にある公園及び遊歩道の除草やヤマビル対策を7月～9月と10月～11月の年2回、森林組合と委託契約し実施しています。引き続き、除草作業やヤマビル対策を実施しています。

(問) 観光戦略プラン策定にあたり、以下の2点に配慮し推進するようお願いする。

- ①懸案事項である「寸又峡プロムナード有料化」実現のための速やかな条例化。
- ②激変する観光ニーズに追いつき追い越せる観光地づくり・温泉地づくり・地域の魅力づくりの推進。街並みが“絵”になり、歩きたくなり、休みたくなるような景観整備への配慮。

(答) ①「寸又峡プロムナード有料化」については、関係機関との調整、運営体制構築や待ち時間対策などを踏まえて、地元及び関係団体と協議しながら有料化の時期を位置づけていきます。

②観光地エリア景観計画の整備計画と包含した方向性を観光戦略プランに示し推進していきます。

(問) 大井川の清流化は地区住民の切なる願いである。ダム放水による川の濁りにより魚の生息環境や住民が川に親しむ環境になっていない。

大井川の現状と問題点を的確にとらえ住民、観光客が親しめる豊かな流れの大井川になっていくよう施策の展開を期待する。

(答) 河川管理者である静岡県、ダム管理者である中部電力(株)や長島ダム等にはこれまで大井川の清流化についてお願いをしていますが、具体的な動きに至っていない状況です。引き続き、国県等の関係機関へ働きかけを行い、流況改善へ取り組んでまいります。

(問) 鳥獣被害の原因は里山の荒廃と思われる。鳥獣の侵入防止対策等の短期的対

策と合わせ、森林の整備や耕作放棄地の解消など里山の復興に向けた中長期的な対策を。

(答) 被害防除への補助、有害鳥獣捕獲を継続するとともに、里山林も含めた森林整備の推進など効果的な野生鳥獣被害防止対策を講じていきます。地域においても狩猟者の確保について検討をお願いします。

(問) 観光立町を目指す我が町の道路状況をみると通行に危険を感じる状況にある。道路パトロール強化等により生活道路や観光道路の普段からの整備を。

(答) 住民の方からの情報提供や日々のパトロールにより確認はしておりますが、県道沿いの支障木については建設課にご連絡をいただければ島田土木事務所に連絡し対応を依頼します。町道につきましては、随時パトロールを行い、支障木等があれば地主の方にもお願いして処理していきます。

(問) 従事者の高齢化、後継者不足による製茶工場の減など状況は厳しい。農林業センター（地名）を荒茶製造のために一般開放し、また、本川根地区へ工場設置により川根茶の存続を。後継者育成問題に向き合い、具体的な対策を。

(答) 時代の変化に合わせて農林業センターの製茶機械の目的や役割を見直すことも必要と考えています。荒茶加工工場の経営が成り立つよう、製茶機械の維持修繕費用の支援を創設するなど、現在稼働している製茶工場の継続を図っていきます。

(問) 元北小学校は廃校して 17 年が経過するが有効な利活用が示されないまま、現在に至っている。学校再編による廃校舎の利活用の検討と合わせて、具体的な対策を。

(答) 今後の学校再編による廃校舎の利活用を検討する委員会の設置準備を現在進めており、現時点では目的を限定せずに、幅広く利活用方法を検討していきます。元北小学校のあり方についても併せて検討していきます。

なお、区長連絡会、議会全員協議会、関係機関には委員会の進捗状況を随時報告していきます。

## (2) 意見交換

(住民) 生活環境を優先して災害復旧を進めるという話があったが、大井川鐵道が

運休となっている状況において、復旧への町長の考えは。

(町長) 大井川鐵道は、川根本町にとってなくてはならないものだという思いのもとに、運行再開に向けて、大井川鐵道をはじめ静岡県、中部電力等と協議を進めています。

町として大井川鐵道に対して何ができるのか、大井川鐵道は何をするべきなのかをしっかりと話をしていきたい。この問題の解決には少し時間はかかるかもしれないが、重要な問題として取り組み、全線復旧に向け取り組んでいきます。

(住民) 災害時に重要な通信手段となる防災行政無線のバッテリー更新が必要になっていると感じる。

(課長) 今回の台風災害でも防災行政無線は重要な役割を果たしました。災害時に有効に利用できるよう、機器の使用方法是はじめ、バッテリーの管理についても適切に対応するよう担当課に伝えます。

(住民) 町の職員は現在の北小学校を確認しているだろうか。体育館の屋根の錆の進行が進み、このままでは雨漏り等も懸念される。解体ということであっても、今後、利活用も考えている場合であっても、早急に何かしらの対応が必要ではないか。

(町長) 当時、奥泉区とも様々な議論があったことは聞いています。今回の学校改編に伴い廃校となる校舎の利活用と合わせて北小学校の件も協議していきます。改めて地元からの意見を伺いながら対応していきたいと考えます。

(住民) 県道等の支障木については、地区から町へ連絡をいただければ、関係する機関へ連絡し対応するということがあったが、職員も普段の通勤時や業務中に気づいた点があれば必要な対応をとることも必要ではないか。地域にもう少し興味を持つことが必要ではと感じる。

(町長) 職員に対しては、普段から地域に目を向けるよう指示していきます。

(住民) 3年越しのコロナ。県道の崩壊による通行止め、そして本年は台風被害による大井川鐵道の運休や風評被害もあり、宿泊客、日帰り客は例年の半分以下に落ち込んでいる。当地への来客の手段としての大井川鐵道、目的として

の夢のつり橋のイメージの大きさには、我々でも想像できないものがある。家山～千頭間の復旧にはまだまだ時間を要すると思うが、川根本町として大井川鐵道に対する思いと夢のつり橋への思いとは。

(町長) 千頭をはじめ寸又峡、接岨の方もみんなが大井川鐵道を利用して大事にきています。町としても大井川鐵道は必要なものであり、行政としてどこまで力になれるのか、そういったことも考えてやっていかなければなりません。

川根本町の勝負どころだと思っています。12月16日からは家山～金谷間で運行が再開されますが、私達ができることを精一杯やっていきたいと思っています。

夢のつり橋は、若者たちのメッカとなっており、寸又峡にも賑わいをもたらしてくれています。そういったことから、今回、いち早く復旧できるよう中部電力㈱にも働きかけを行い対応してきました。夢のつり橋は大事なものだと思っているので今後も点検等進めながら対応していきます。

(住民) 今回の観光面の災害によって情報発信について思うところがあった。正しい情報を早く発信することが大事であると感じたが、町としてこれから先どう考えるか。

(町長) 情報発信は重要な事であり、今後さらに連携強化をして観光協会と進めていきたいと考えています。

(住民) この先、老朽化した建物を町が行政代執行により撤去するという時が来るのだろうと思うが、町として、観光地の街並みの整備、景観づくりのためにも素早く対応していただけるかどうか。

(副町長) 町では、寸又峡の状況というのは把握しているところですが、所有権の問題等様々あることも承知しています。今後は、地域と共に打開策等を検討していきたいと考えています。その中で、町として必要な動きが必要となれば速やかに対応していきたいと考えます。

(住民) 川根本町の基幹産業は茶業だと考えている。しかし、過疎化、高齢化社会の中で、茶業はいずれ衰退してしまうのではと心配している。県道沿いや大井川鐵道沿いには荒廃茶園が目立つようになり、観光面でもイメージが良く

ないと感じる。景観整備事業などにより、せめて県道沿い及び大井川鐵道沿いの荒廃茶園の整備をお願いしたい。

(町長) これからも茶業を続けていく方たちのためにも、問題となっている後継者のいない茶園等の管理については対応していきたいと思います。

(住民) 小規模ながら、茶園をやっている農家はまだある。自分の作ったお茶を、自分の家で飲みたいという農家もまだいると思う。製茶工場の整備を実現していただくとともに、地名の農林業センターを茶農家に開放して利活用していただくことはできないか。

(町長) 現在、稼動してる製茶工場の継続は、何とか方向性を示していきたいと思っています。

川根茶を大事にしてくれている人たちが何人もいますので、そこは大事にしながら、何とか進めていきたいと思っています。

(住民) 情報通信に関して、先月の中頃から、a u 携帯電話の発信や着信ができないなどインターネットが非常に不安定で、通信事業者に問い合わせたが故障はないという返答であった。テレワークなどは安定したインターネット環境がないとできないので、町としても安定した情報通信環境の確保に気を配っていただきたい。

(課長) 意見は情報政策課に伝え、その際の状況等をお聞きし、確認して改善できるように対応の指示をさせていただきます。

以上